

「統計検定の正しい使い方 – それで査読に通りますかー」

- ・ 講 師： 高木英行 先生（九州大学大学院芸術工学研究院、教授）
- ・ 日 時： 2014 年 3 月 17 日（月） 13 時—15 時
- ・ 場 所： 首都大学東京 日野キャンパス 2 号館 4 階 401 教室
- ・ 申込み： 事前申込みは不要です。
- ・ 参加費： 無料
- ・ 言 語： 日本語

概要：

統計検定手法の正しい選び方と使い方を学ぶ実用的な講習。計算知能，機械学習，パターン認識などで提案手法の優位性を示すには統計検定が必要である。学部教育でも統計・確率の授業はあるが，数学的側面が主であり，統計検定の利用者にとって即役立つ実用的な知識提供を目的にしている訳ではないことが多い。

本講習会では統計検定の数学的側面ではなく「どのような場合にどのような検定手法をどのように使えばよいのか」を解説する。取り上げる検定手法は，t-検定，分散分析，Mann-Whitney の U 検定，符号検定/Wilcoxon の符号検定，Kruskal-Wallis 検定，Friedman 検定，および，Scheffe の一対比較法である。

資 料： 講習会で使用するスライドは，以下から download 可能である。

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~takagi/> の「ダウンロード可能ファイル」メニューにある統計検定のスライドショーまたは PDF ファイル

連絡先：

首都大学東京大学院 システムデザイン研究科
久保田直行

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6

Phone&Fax: 042-585-8441 E-mail: kubota@tmu.ac.jp